

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

令和5年9月7日（木）

【報告事項】

1 監察関係報告について

（警務部）

警察本部から「大牟田警察署員による覚醒剤取締法違反事案について、9月7日付けで当該職員を懲戒処分免職とする。本事案の発生を受け、既に会計年度任用職員を含む全職員に対して規律の振粛について指示しており、再発防止に努めていく。」旨の報告があった。

公安委員から「警察職員に対する薬物検査等は実施しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「警察職員に対する薬物の検査は実施していない。本件は採用後に覚醒剤の使用が発覚したものであるが、今後、採用面接に従事する職員に対する指導を行うなどの取組を進めていきたいと考えている。」旨の説明があった。

公安委員から「再発防止対策を徹底されたい。」旨の発言があった。

2 関係機関・団体と連携した防犯対策の推進について

（生活安全部）

警察本部から「犯罪の起きにくい社会づくりに当たり、県警察では継続的かつ効果的な取組を推進するため、平成15年以降約40の多種多様な関係機関・団体等と協定を締結して、各種防犯対策を講じている。犯罪は平成14年をピークに約8割以上減少しており、このような関係機関と連携した取組が減少の大きな要因と考えている。県警察として、関係機関・団体との関係をより深め、ニセ電話詐欺等重点目標に掲げた罪種や増加罪種の抑止に取り組んでいくこととしている。」旨の報告があった。

公安委員から「民間企業とも協定を締結しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「個別の企業とも協定を締結しているが、多くは業界団体と締結している。」旨の説明があった。

公安委員から「今後とも犯罪の起きにくい社会づくりのため、各種対策の推進をよろしく願います。」旨の発言があった。

3 死亡ひき逃げ事件被疑者の逮捕について

（交通部）

警察本部から「粕屋警察署は、8月26日、信号交差点を進行中、被害者運転の軽四輪乗用自動車に追突し、更にその前車に衝突させ、被害者を負傷させたにもかかわらず、救護等の措置を執ることなく逃走した死亡ひき逃げ事件について、8月27日、福岡市西区居住の会社員の男性を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「被疑者は相当のスピードを出していたのか。」旨の発言があり、警察本部から「現時点、事故当時のスピード超過や無謀運転等の状況は認められない。」旨の説明があった。

4 秋篠宮皇嗣同妃両殿下のお成りに伴う警衛の実施について

（警備部）

警察本部から「9月12日、秋篠宮皇嗣同妃両殿下が福岡市内で開催される第33回福岡アジア文化賞授賞式に御臨席されることに伴い、御対象の御身の絶対安全確保、

式典の円滑な進行及び円滑な交通対策の推進を基本方針とし、所要の体制により警衛警備を実施する。」旨の報告があった。

公安委員から「警備に万全を期してもらいたい。」旨の発言があった。